

統合セキュリティ管理サービス

太田 潔* 榊原裕之**
田中 朗* 平井規郎**
藤井誠司**

MIND Integrated Security Management Service

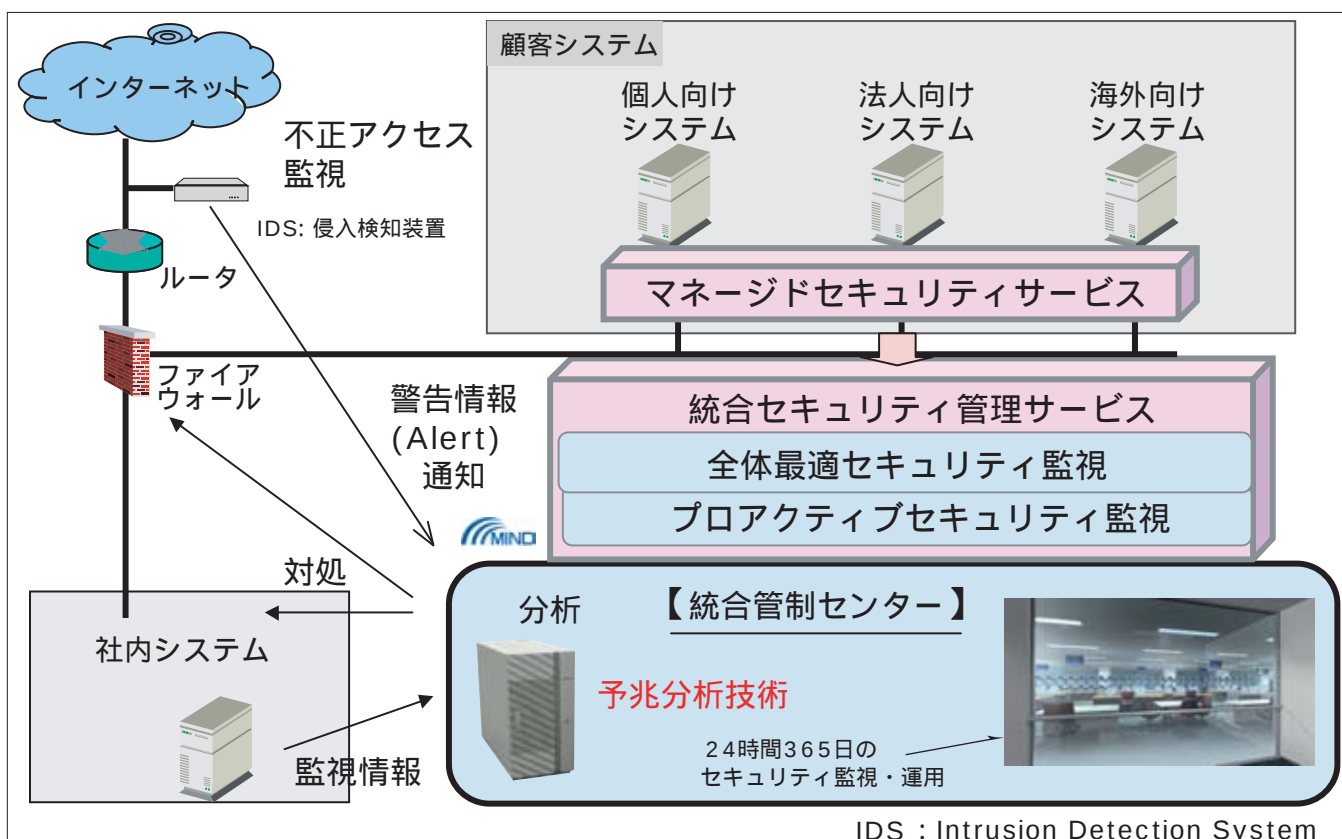
Kiyoshi Ohta, Akira Tanaka, Seiji Fujii, Hiroyuki Sakakibara, Norio Hirai

要 旨

三菱電機情報ネットワーク㈱(MIND)では、情報セキュリティビジネスとして、1998年からセキュリティ運用監視サービスを提供しており、トータルなセキュリティソリューションとして“ MINDマネージドセキュリティサービス ”を提供している。MINDは、2003年に、“情報セキュリティマネジメントシステムISMS(Information Security Management System)”適合性評価制度及びBS7799の認証を三菱電機グループでは初めて取得し、セキュリティサービスを提供する企業として、積極的に情報セキュリティビジネスに取り組んできた。

本稿では、監視対象システムの構築から運用、監視、対

応、セキュリティ情報収集・分析までのセキュリティサービスを提供しているMINDマネージドセキュリティサービスへの取り組みについて述べる。また、セキュリティ監視サービスの更なる質の向上を目指して、2005年度から新たに開始した“統合セキュリティ管理サービス”についても述べる。統合セキュリティ管理サービスは、全体最適セキュリティ監視とプロアクティブセキュリティ監視から構成される。特に、プロアクティブセキュリティ監視については、情報セキュリティにおける未知の不正アクセス検知及びその対策実現のために三菱電機㈱ 情報技術総合研究所と共同で開発を進めている予兆分析システムについても述べる。



統合セキュリティ管理サービス

MINDマネージドセキュリティサービスでは、IDSによるインターネット及び社内システムの不正アクセスの監視、統合管制センターへの警告情報通知、統合管制センターでの分析、対処を実施している。新たな全体最適セキュリティ監視及びプロアクティブセキュリティ監視機能の提供により、更なる監視サービスの質の向上を目指している。